

## 令和3年度 第3回学校運営協議会

2022年1月28日

於 会議室

### 【構成メンバー：(協議会委員)】

山田 亨・中西 均・桑原 武志・若田 淳子・植森 裕子・片岡 佳林

### 【構成メンバー：(事務局「学校側」)】

石村 佳之(校長)・服部 有晋(教頭・書記)・片倉 勝則(事務長)・  
松下 真二(首席)・坂橋 徹(首席・進路指導主事)・冢瀬 克徳(教務主任)・  
岡田 泰典(生徒指導主事)・藤本 祐貴(保健主事)・乾 実代子(文化広報部長)

### 1. 校長挨拶

### 2. 会長挨拶

### 3. 協議項目【司会：会長】(発言者「委」：協議会委員、「学」：事務局(学校側))

#### (1) 令和3年度学校評価(案)

- ・確かな学力の育成と第一志望の進路実現
- ・豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成
- ・生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上
- ・公務の効率化と働き方改革の推進

以上について説明を行う。

#### 【ご意見、質疑応答】

委Q：アンケートの結果について「何がよくなった要因だと考えますか」

学A：授業の中で生徒の活動量を増やすような授業を各先生にお願いをしてきた結果、ペアワークや、グループワークが増え、また、ICT等の活用もあると思います。

委：これからは、小・中学校でグループワークなどがメインにしてきた生徒が高校に入学してくるのでこれまで以上の活躍ができると期待している。

委Q：「探究の満足度が高水準ですが、活動のゴールとしてプレゼンなどが行われたりするのか」

学A：1, 2, 3年ともプレゼンを行います。また3年では関西大学と連携して活動を行っているので、発表の際には講評や表彰を行っていただいている。」

委Q：「探究の活動はチームでやっているのか」

学A：1, 2はチームで、3年は個人で行っています。また3年ではこの探究活動を大学入試で活かして推薦合格をしています。

委：アンケート結果によっては数値が高い項目もあり、次年度以降維持できるようにお願いします。

委：PTA 活動としては、花壇整理などはできたが、体育祭(観客なし)、文化祭(中止)など大きな活動ができず、残念だった。

委：コロナの影響で地域と連携が出来ず、交流がなかったのが残念。

委 Q：「遅刻・欠席のメール受信」がどのように働き方改革につながっているのか。

学 A：遅刻、欠席の連絡を Web にて連絡をいただくことをベースにすることで、これまで先生のボランティアで行っていた勤務時間前の電話対応を削減することが出来た。

- ・承認をいただく。

- ・学校教育自己診断アンケートについて説明を行う。

委：アンケートより生徒が将来に対し不安を感じている要因として、コロナ禍という世相を生徒の中にも反映しているのではないか。分析する際には教育相談などの件数の変化や、内容を照らし合わせて行っていただければと思います。

## (2) 令和4年度学校経営計画(案)について

令和3年度学校評価を元に昇華して作成している。

来年度もコロナ禍の中を想定し、今年度と大きな変更は行わず、網掛けの部分を変更した。

### 【ご意見、質疑応答】

委 Q：大規模な災害時で高校の役割はどのようになっているのか

委 A：避難場所に関しては市の指定は高校ではなく、小・中学校が指定されている。

学 A：4年前の地震、台風と自然災害に見舞われた際、市域の協議会からも本校へ避難が可能かと問い合わせを受けた。当然府民なので可能であるが、対応できるものが本校にすることが前提となる。また現在は食料などの備蓄品もあるが生徒分しかないので、生徒が避難している際は生徒が優先となりますが、生徒の安全を確保したうえで、地域へ協力します。

委：災害等、いざという際に地域と相互に連携が取れるようであれば素晴らしい。

- ・承認をいただく。

(3) 進路実現に向けての各取り組みについて

- ・40期生の進路状況中間状況の報告

今年は例年になく安全志向が働いた。

3年生に対し、1月は午前授業とし、午後は受験を控えた生徒に進路先に応じた講習を行ってきた。

**【ご意見、質疑応答】**

委Q：大学個々に対する、受験者、合格者について質問をいただく。

学A：質問された大学個々の状況について説明を行う。

4. 校長謝辞